

8 防耐火認定

- 8-1. 建築基準法の制限 P147
- 8-2. 商品別取得認定一覧 P149
- 8-3. 防耐火構造認定 P151

8-1. 建築基準法の制限

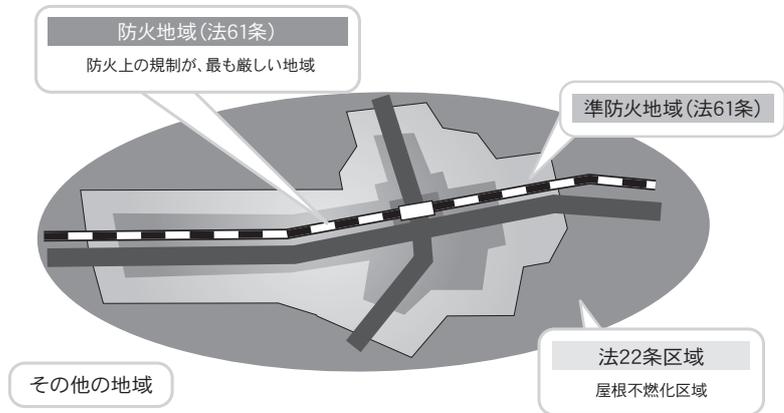
ご検討の際は最新の建築基準法をご確認いただくようお願いします。

1. 地域の制限

建築基準法では、個々の建築物の火災による延焼を防止するために、第22条に基づいた地域（22条区域）を定めています。

また、都市計画により市街地における火災の拡大を防ぐために、大きな都市の駅周辺など、建築物が密集している地域を防火地域、

その周囲に準防火地域が指定されており、各地域、規模及び用途などに応じ、建築物の防耐火構造が規定されています。



2. 外壁に求められる防耐火性能とアイジーサイディング認定取得範囲

商品により取得している認定番号が異なります。使用する商品の認定番号をご確認ください。

■鉄骨下地

用途	地域	階数	延床面積 (S) m ²	S ≤ 100	100 < S ≤ 500	500 < S ≤ 1000	1000 < S ≤ 1500	1500 < S ≤ 3000	3000 < S	
事務所・工場・戸建住宅など（特殊建築物以外）	防火地域	3階建以上		耐火構造（法61条）						
		1,2階建		a.45分準耐火構造【イ準耐】 b.防火構造※1+準不燃材料【口準耐二号】（法61条、令109条の3）						
	準防火地域	4階建以上		耐火構造（法61条）						
		3階建		準防火3階建仕様（法62条、令136条の2） 防火構造かつ内装側のせっこうボード12mm以上	a.45分準耐火構造【イ準耐】					
		1,2階建		制限なし	b.防火構造※1+準不燃材料【口準耐二号】（法61条、令109条の3）					
	その他の22条区域	1階建以上		制限なし	a.45分準耐火構造【イ準耐】（法26条、令109条の3） b.防火構造※1+準不燃材料【口準耐二号】（法26条、令109条の3）		b.防火構造※1+準不燃材料【口準耐二号】（令112条、令109条の3）（但し、一部45分準耐火構造必要※2※3）			
					制限なし（但し、一部45分準耐火構造必要※2※3）					

アイジーサイディングの認定取得範囲です。（銘壁は、木造下地45分準耐火構造認定を取得していません。）

SP-ガルスパンのみの認定取得範囲です。

SP-ガルブライトII、SP-ガルスパン、SF-ガルステージシャインのみの認定取得範囲です。

アイジーサイディングの準不燃材料認定商品のみ適用しています。

※1 「延焼のおそれのある部分」のみが対象になります。「延焼のおそれのある部分」、「イ準耐」、「口準耐二号」については、次のページを参照してください。

※2 防火区画と接する部分を含み幅90cm以上の部分を準耐火構造としなければなりません。（令112条）

※3 45分準耐火構造が必要な部分には使用できません。

・高さ16mを超えるもの（車庫、倉庫は高さ13mを超えるもの）、または階数が4以上の木造建築物は、地域にかかわらず一時間準耐火構造以上の性能が求められます。（法21条）

3. 防火区画

建築物内部で火災が発生したときに火災が急激に燃え広がることを防ぐため、建築物の構造、用途、規模に応じて防火区画が必要になる場合があります。

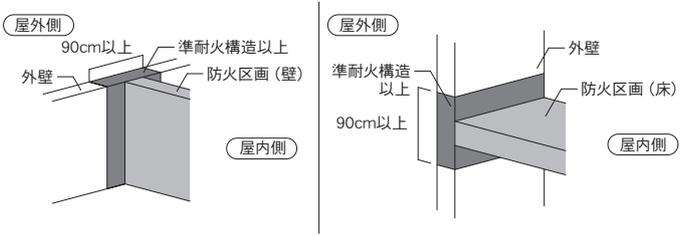
●代表的な例

耐火建築物または準耐火建築物で、延床面積が1,500m²を超えるものは、1,500m²以内ごとに防火区画を設けなければなりません。
(建基法令第112条第1項)

準耐火建築物の場合

防火区画に接する外壁は、接する部分を含む幅90cm以上の部分を準耐火構造以上にしなければなりません。
(建基法令第112条第16項)

■防火区画に接する外壁の構造



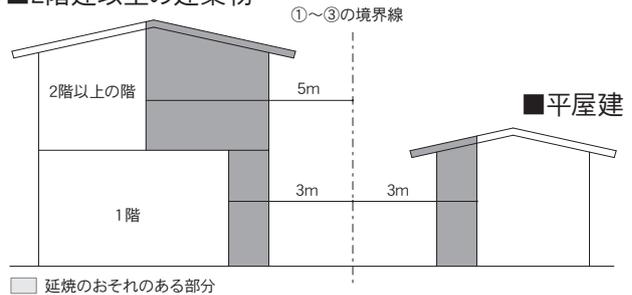
(注) 以上は、外壁のみに関する建築基準法の大まかな制限を表しています。建築基準法ではこれより詳細な制限を設けている条項があります。また、自治体の条例などで建築基準法より厳しい制限が設けられている場合がありますので、計画の際は前もって管轄の行政庁にご確認ください。

4. 延焼のおそれのある部分 (法2条六号)

防火地域など各地域の指定は、火災が周囲に広がるのを防ごうとするもので、特に延焼のおそれのある部分については、防耐火構造が強化されます。

延焼のおそれのある部分とは、①道路中心線、②隣地境界線または③同一敷地内にある2つ以上の建築物(延床面積の合計が500m²以内であれば1つの建築物とみなされる)の相互の外壁間の中心線から、1階については3m以下、2階以上については5m以下の建築物の部分指します。但し、防火上有効な公園、広場や耐火構造の壁などに面している部分は除かれます。

■2階建以上の建築物



5. 耐火建築物、準耐火建築物の仕様

耐火建築物・・・主要構造部を耐火構造としなければならない建築物です。(法2条九の二号)

準耐火建築物・・・次の3種類のいずれかの構造としなければならない建築物です。(法2条九の三号、令109条の3)

①イ準耐(令107条の2)

主要構造部を準耐火構造としたもの

部位	延焼のおそれのある部分	その他の部分
壁	準耐火構造	
柱・はり	準耐火構造	
床	準耐火構造	
屋根	準耐火構造	
階段	準耐火構造	
開口部	防火戸など	—

②ロ準耐一号(令109条の3—一号)

外壁を耐火構造としたもの

部位	延焼のおそれのある部分	その他の部分
壁	耐火構造	
柱・はり	—	
床	—	
屋根	準耐火構造など	不燃材料
階段	—	
開口部	防火戸など	—

③ハ準耐二号(令109条の3—二号)

主要構造部を不燃材料または準不燃材料で造ったもの

部位	延焼のおそれのある部分	その他の部分
壁	防火構造+準不燃材料	準不燃材料
柱・はり	不燃材料	
床	準不燃材料(3階以上は準耐火構造など)※	
屋根	不燃材料	
階段	準不燃材料	
開口部	防火戸など	—

上表は、準耐火建築物の大まかな仕様であり、詳細は建築基準法をご確認ください。

※最下階の床は除く

せっこうボードについて

せっこうボードの目地部については、火災時の安全性向上のため、せっこうボードメーカーの推奨する適切な目地処理(乾式壁目地処理工法など)をお勧めします。

8-2. 商品別取得認定一覧

■鉄骨下地

		認定番号	認定仕様 掲載ページ	胴縁間隔	外装下地材	断熱材	内装材	備考	
防火構造	せっこうボード 下張り	PC030NE-0084	P151	910mm 以下	せっこうボード 15mm以上	—	—	鉛壁の胴縁間隔は610mm以下 としてください。	
		PC030NE-0211 (1)	P152	610mm 以下	せっこうボード 15mm以上	—	—	せっこうボード目地処理材に ロックウールフェルト系テープ必須 通気構法(木胴縁)にも対応	
		PC030NE-0211 (2)			せっこうボード 重ね張り 9.5+12.5mm以上				
		PC030NE-0232	P153	610mm 以下	せっこうボード 15mm以上	—	—	せっこうボード目地処理材に ロックウールフェルト系テープ必須 通気構法(木胴縁)にも対応	
		PC030NE-0248	P154	610mm 以下	せっこうボード 15mm以上	—	—	せっこうボード目地処理材に ロックウールフェルト系テープ必須 通気構法(木胴縁)にも対応	
	せっこうボード 内装重ね張り	PC030NE-0215 (1)	P155	610mm 以下	—	—	せっこうボード 重ね張り 9.5+12.5mm以上	—	
		PC030NE-0215 (2)							・グラスウール ・ロックウール
		PC030NE-0263	P156 P157	610mm 以下	—	・グラスウール ・ロックウール	せっこうボード 重ね張り 9.5+9.5mm以上	通気構法(木胴縁)にも対応	
		PC030NE-0241 (1)	P158	610mm 以下	—	—	せっこうボード 重ね張り 9.5+12.5mm以上	通気構法(木胴縁)にも対応	
		PC030NE-0241 (2)							・グラスウール ・ロックウール
		PC030NE-0252 (1)	P159	610mm 以下	—	—	せっこうボード 重ね張り 9.5+12.5mm以上	通気構法(木胴縁)にも対応	
	PC030NE-0252 (2)	・グラスウール ・ロックウール							
	45分準耐火構造	せっこうボード 内装重ね張り	QF045NE-0063 (1)	P160	610mm 以下	無し	・グラスウール ・ロックウール	せっこうボード 重ね張り 9.5+12.5mm以上	通気構法にも対応
			QF045NE-0063 (2) QF045NE-0063 (3)			せっこうボードなど 9mm以上			
QF045NE-0064 (1)			P161	610mm 以下	無し	・グラスウール ・ロックウール	せっこうボード 重ね張り 9.5+12.5mm以上	通気構法にも対応	
QF045NE-0064 (2) QF045NE-0064 (3)					せっこうボードなど 9mm以上				
QF045NE-0066 (1)			P162	610mm 以下	無し	・グラスウール ・ロックウール	せっこうボード 重ね張り 9.5+12.5mm以上	通気構法にも対応	
QF045NE-0066 (2) QF045NE-0066 (3)					せっこうボードなど 9mm以上				
QF045NE-0070 (1)			P163	610mm 以下	無し	・グラスウール ・ロックウール	せっこうボード 重ね張り 9.5+12.5mm以上	通気構法にも対応	
QF045NE-0070 (2) QF045NE-0070 (3)					せっこうボードなど 9mm以上				

・詳細は認定書をご確認ください。

	対応商品						
	SP-ガルスパン		SP-ガルブライトII		SF-ガルステージシャイン		銘壁
	たて張り	よこ張り	たて張り	よこ張り	たて張り	よこ張り	たて張り
	○	—	○	—	○	—	○
	—	○	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	○	—
	—	—	—	○	—	—	—
	○	—	—	—	—	—	—
	—	—	○	○	—	—	—
	—	—	—	—	—	○	—
	—	—	—	○	—	—	—
	○	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	○	—	—	—
	—	—	○	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	○	—

・上記以外のアイジーサイディングは鉄骨下地構造認定に対応していません。

■材料認定

商品名	準不燃材料
SP-ガルスパン	QM-1041
SP-ガルブライトII	QM-1048
SF-ガルステージシャイン	QM-0902
銘壁	QM-0893

商品名	不燃材料
SP-ガルスパン	NM-5456 (表面側性能)
SP-ガルブライトII	NM-5451 (表面側性能)
SF-ガルステージシャイン	NM-5311 (表面側性能)

・口準耐二号の建築物には、準不燃認定番号を使用してください。

8-3. 防耐火構造認定

認定番号：PC030NE-0084

SP-ガルスパン SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン 銘壁

防火

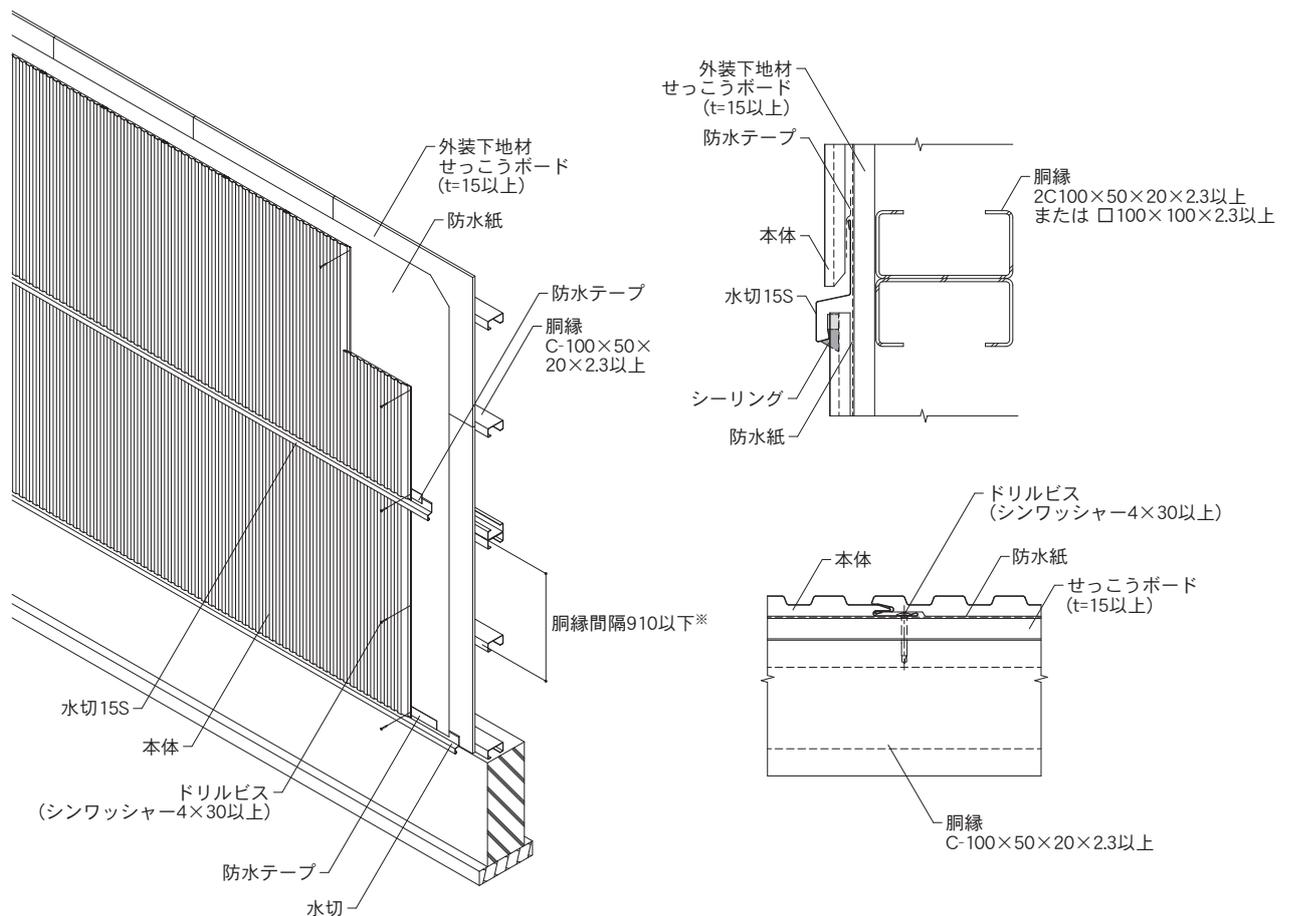
たて

直張

せっこうボード下張り

図はSP-ガルスパンです。

単位：mm



※銘壁の胴縁間隔は、610以下としてください。

外装下地材		
単体張りの場合		
<ul style="list-style-type: none"> せっこうボード 外装材用留め具 留め付け間隔 	厚さ15mm以上 ドリルビス 4×30以上 胴縁方向610mm以下、張り方向333mm以下	<ul style="list-style-type: none"> せっこうボードの横目地は、胴縁の上に配置してください。 せっこうボード目地部には、せっこうボードメーカーが推奨する目地処理材を使用してください。
重ね張りの場合		
<ul style="list-style-type: none"> せっこうボード 外装材用留め具 留め付け間隔 	厚さ9.5mm以上+厚さ12.5mm以上 [下張り]ドリルビス 4×20以上 [上張り]ドリルビス 4×30以上 胴縁方向610mm以下、張り方向333mm以下	<ul style="list-style-type: none"> せっこうボードの横目地は、胴縁の上に配置してください。また、上張りと下張りの目地はお互いに揃わないよう割り付けてください。 せっこうボード目地部には、せっこうボードメーカーが推奨する目地処理材を使用してください。
備考		
<ul style="list-style-type: none"> 土台部は、認定の対象外です。 たてつなぎ（中間水切）部には、縦用スターター15が併用できます。アルミ縦用スターター15は使用できません。 		

認定番号：PC030NE-0211(1),(2) SP-ガルスパン

防火

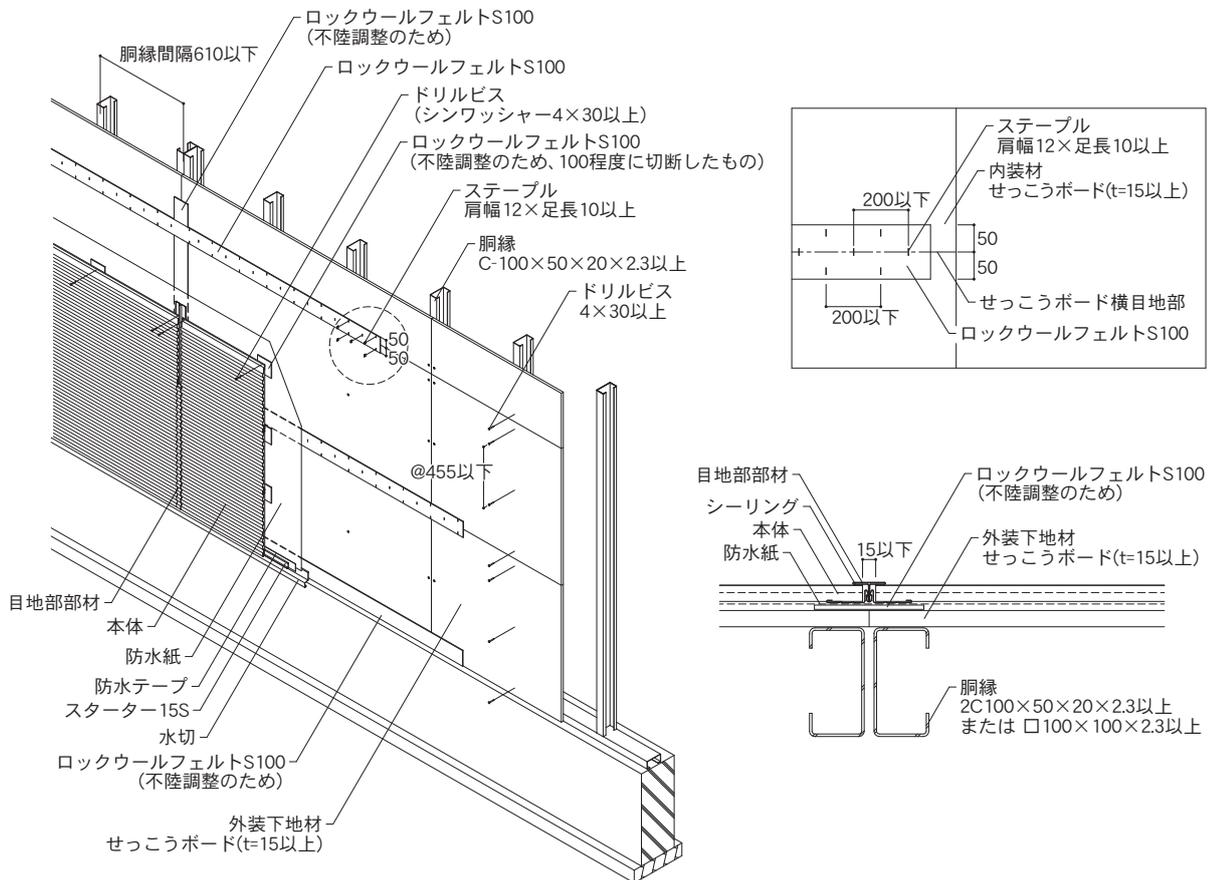
よこ

直張・通気

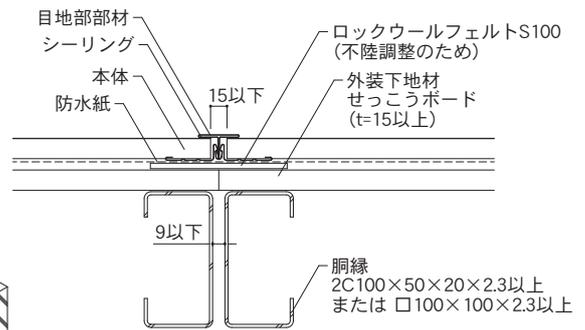
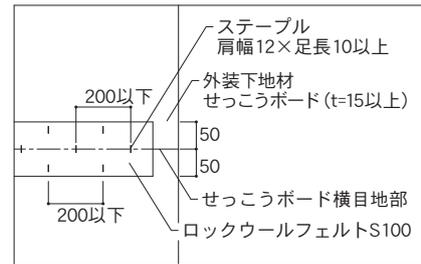
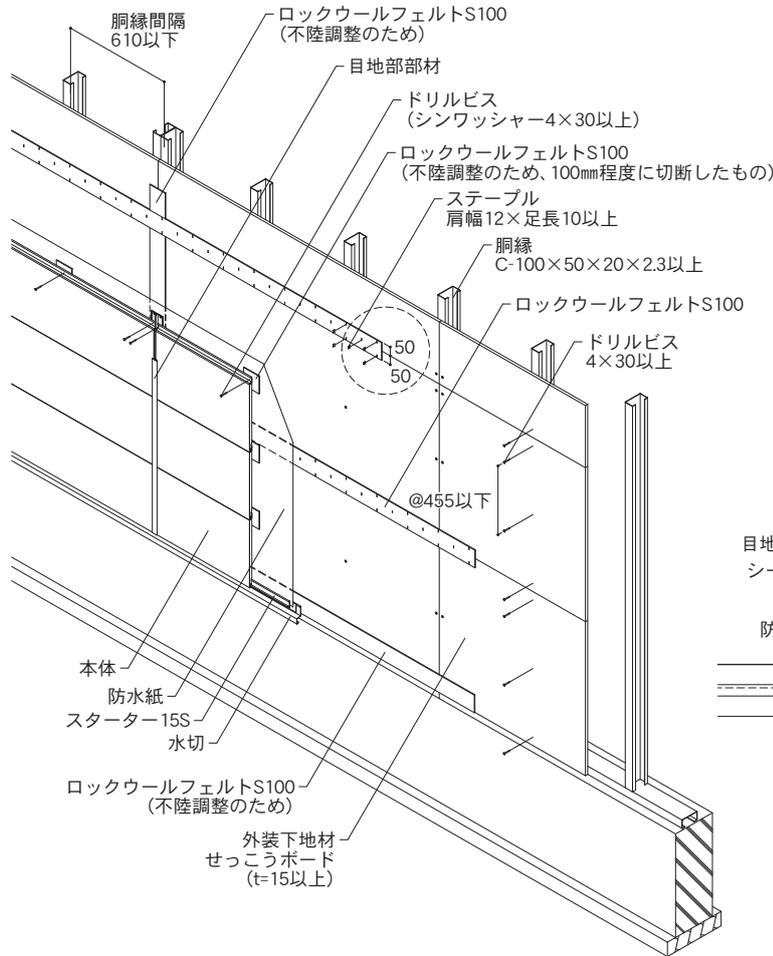
せっこうボード下張り

せっこうボードの仕様により認定番号が異なります。図はPC030NE-0211 (1) です。

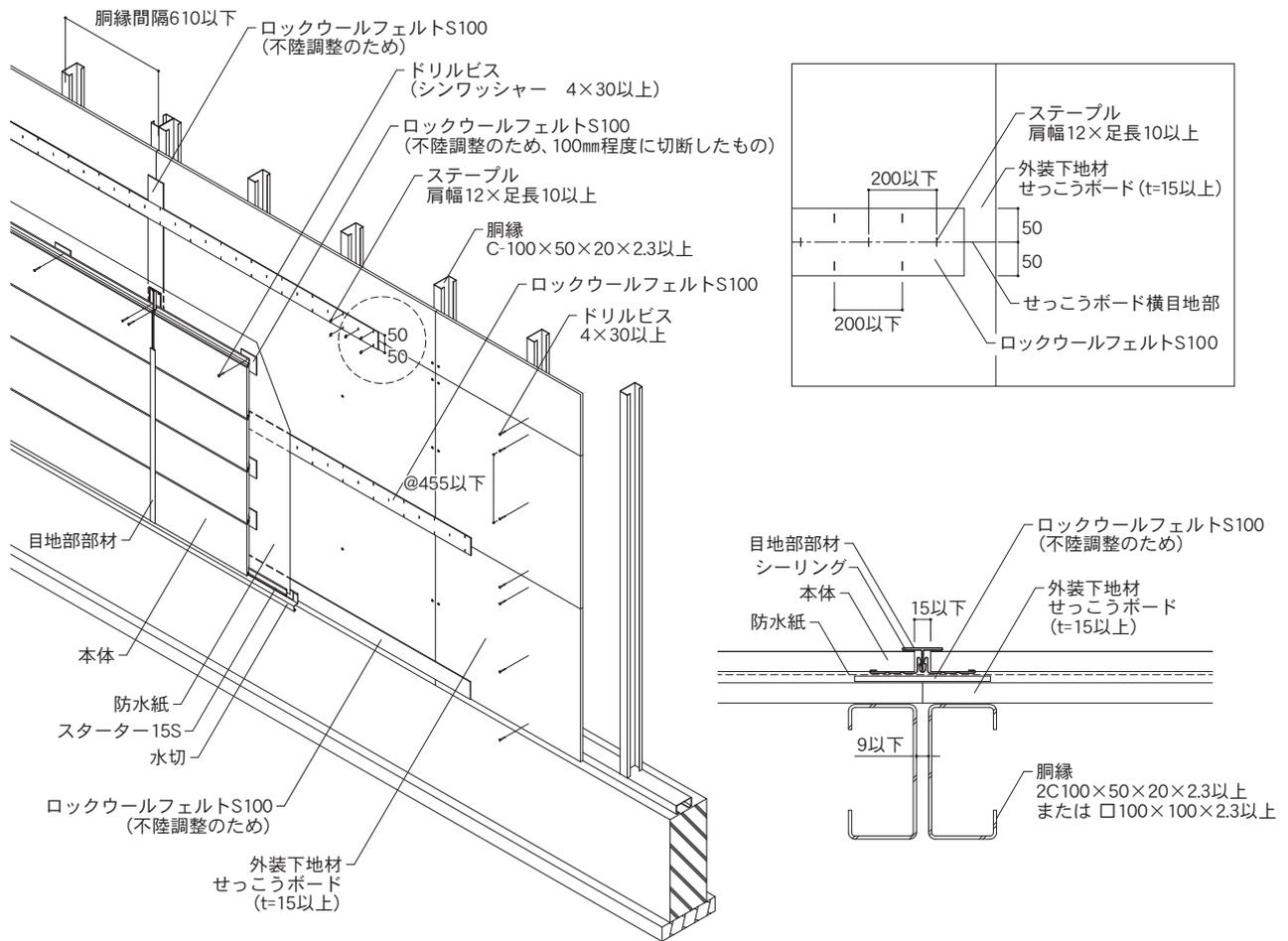
単位：mm



外装下地材		
PC030NE-0211 (1)		
<ul style="list-style-type: none"> せっこうボード 外装材用留め具 留め付け間隔 	厚さ15mm以上 ドリルビス 4×30以上 銅縁方向610mm以下、張り方向455mm以下	<ul style="list-style-type: none"> せっこうボードの縦目地部は、銅縁の上に配置してください。 せっこうボードの横目地部には、ロックウールフェルトS100を目地部上部50mm以上、目地部下部50mm以上で覆うように貼り付け、ステープルで留め付けてください。(ステープルの留め付け間隔：横目地部は200mm以下、その間の両端に各1本)
PC030NE-0211 (2)		
<ul style="list-style-type: none"> せっこうボード 外装材用留め具 留め付け間隔 	厚さ9.5mm以上+厚さ12.5mm以上 [下張り]ドリルビス 4×25以上 [上張り]ドリルビス 4×35以上 銅縁方向610mm以下、張り方向455mm以下	<ul style="list-style-type: none"> 下張りのせっこうボードの縦目地部は、銅縁の上に配置してください。 上張りとは下張りの目地はお互いに揃わないよう割り付けてください。 せっこうボード (t=15以上) を施工した際と同様に、上張りのせっこうボードの横目地部にはロックウールフェルトS100を施工してください。
施工のチェックポイント		
<ul style="list-style-type: none"> せっこうボード目地処理材としてロックウールフェルト系テープ (厚さ4mm×幅100mm以上×密度190kg/m³以上) が必須となります。 純正部材としてロックウールフェルトS100 (厚さ4mm×幅100mm×25m巻) を準備しております。 ロックウールフェルトS100が交差する箇所は、重ねないでください。不陸の原因になります。 本体や部材を留め付ける際には、ロックウールフェルトS100を貼り付けて不陸調整をしてください。(不陸調整のために貼るロックウールフェルトS100は防火構造仕様には関係ありません) 		
備考		
<ul style="list-style-type: none"> 土台部は、認定の対象外です。 通気構法 (木銅縁12×40以上@610以下) にも対応可能です。サイディング本体を留め付けるドリルビスは木銅縁を貫通させ鉄骨銅縁に効かせてください。 		



外装下地材		
単体張りの場合		
<ul style="list-style-type: none"> せっこうボード 外装下地材用留め具 留め付け間隔 	厚さ15mm以上 ドリルビス 4×30以上 胴縁方向610mm以下、張り方向455mm以下	<ul style="list-style-type: none"> せっこうボードの縦目地部は、胴縁の上に配置してください。 せっこうボードの横目地部には、ロックウールフェルトS100を目地部上部50mm以上、目地部下部50mm以上で覆うように貼り付け、ステープルで留め付けてください。(ステープルの留め付け間隔：横目地部は200mm以下、その間の両端に各1本)
重ね張りの場合		
<ul style="list-style-type: none"> せっこうボード 外装下地材用留め具 留め付け間隔 	厚さ9.5mm以上+厚さ12.5mm以上 [下張り]ドリルビス 4×25以上 [上張り]ドリルビス 4×35以上 胴縁方向610mm以下、張り方向455mm以下	<ul style="list-style-type: none"> 下張りのせっこうボードの縦目地部は、胴縁の上に配置してください。 上張りと下張りの目地はお互いに揃わないよう割り付けてください。 せっこうボード (t=15以上) を施工した際と同様に、上張りのせっこうボードの横目地部にはロックウールフェルトS100を施工してください。
施工のチェックポイント		
<ul style="list-style-type: none"> せっこうボード目地処理材としてロックウールフェルト系テープ (厚さ4mm×幅100mm以上×密度190kg/m³以上) が必須となります。 純正部材としてロックウールフェルトS100 (厚さ4mm×幅100mm×25m巻) を準備しております。 ロックウールフェルトS100が交差する箇所は、重ねないでください。不陸の原因になります。 本体や部材を留め付ける際には、ロックウールフェルトS100を貼り付けて不陸調整をしてください。(不陸調整のために貼るロックウールフェルトS100は、防火構造仕様には関係ありません) 		
備考		
<ul style="list-style-type: none"> 土台部は、認定の対象外です。 通気構法 (木胴縁12×40以上@610以下) にも対応可能です。サイディング本体を留め付けるドリルビスは木胴縁を貫通させ鉄骨胴縁に効かせてください。 		



外装下地材		
単体張りの場合		
<ul style="list-style-type: none"> せっこうボード 外装材用留め具 留め付け間隔 	厚さ15mm以上 ドリルビス 4×30以上 胴縁方向610mm以下、張り方向455mm以下	<ul style="list-style-type: none"> せっこうボードの縦目地部は、胴縁の上に配置してください。 せっこうボード部の横目地部には、ロックウールフェルトS100を目地部上部50mm以上、目地部下部50mm以上で覆うように貼り付け、ステープルで留め付けてください。(ステープルの留め付け間隔：横目地部は200mm以下、その間の両端に各1本)
重ね張りの場合		
<ul style="list-style-type: none"> せっこうボード 外装材用留め具 留め付け間隔 	厚さ9.5mm以上+厚さ12.5mm以上 [下張り]ドリルビス 3.5×25以上 [上張り]ドリルビス 4×35以上 胴縁方向610mm以下、張り方向455mm以下	<ul style="list-style-type: none"> 下張りのせっこうボードの縦目地部は、胴縁の上に配置してください。 上張りとは下張りの目地はお互いに揃わないよう割り付けてください。 せっこうボード (t=15以上) を施工した際と同様に、上張りのせっこうボードの横目地部にはロックウールフェルトS100を施工してください。
施工のチェックポイント		
<ul style="list-style-type: none"> せっこうボード目地処理材としてロックウールフェルト系テープ (厚さ4mm×幅100mm以上×密度190kg/m³以上) が必須となります。 純正部材としてロックウールフェルトS100 (厚さ4mm×幅100mm×25m巻) を準備しております。 ロックウールフェルトS100が交差する箇所は、重ねないでください。不陸の原因になります。 本体や部材を留め付ける際には、ロックウールフェルトS100を貼り付けて不陸調整をしてください。(不陸調整のために貼るロックウールフェルトS100は、防火構造仕様には関係ありません) 		
備考		
<ul style="list-style-type: none"> 土台部は、認定の対象外です。 通気構法 (木胴縁12×40以上@610以下) にも対応可能です。サイディング本体を留め付けるドリルビスは木胴縁を貫通させ鉄骨胴縁に効かせてください。 		

認定番号：PC030NE-0215(1),(2) SP-ガルスパン

防火

たて

直張

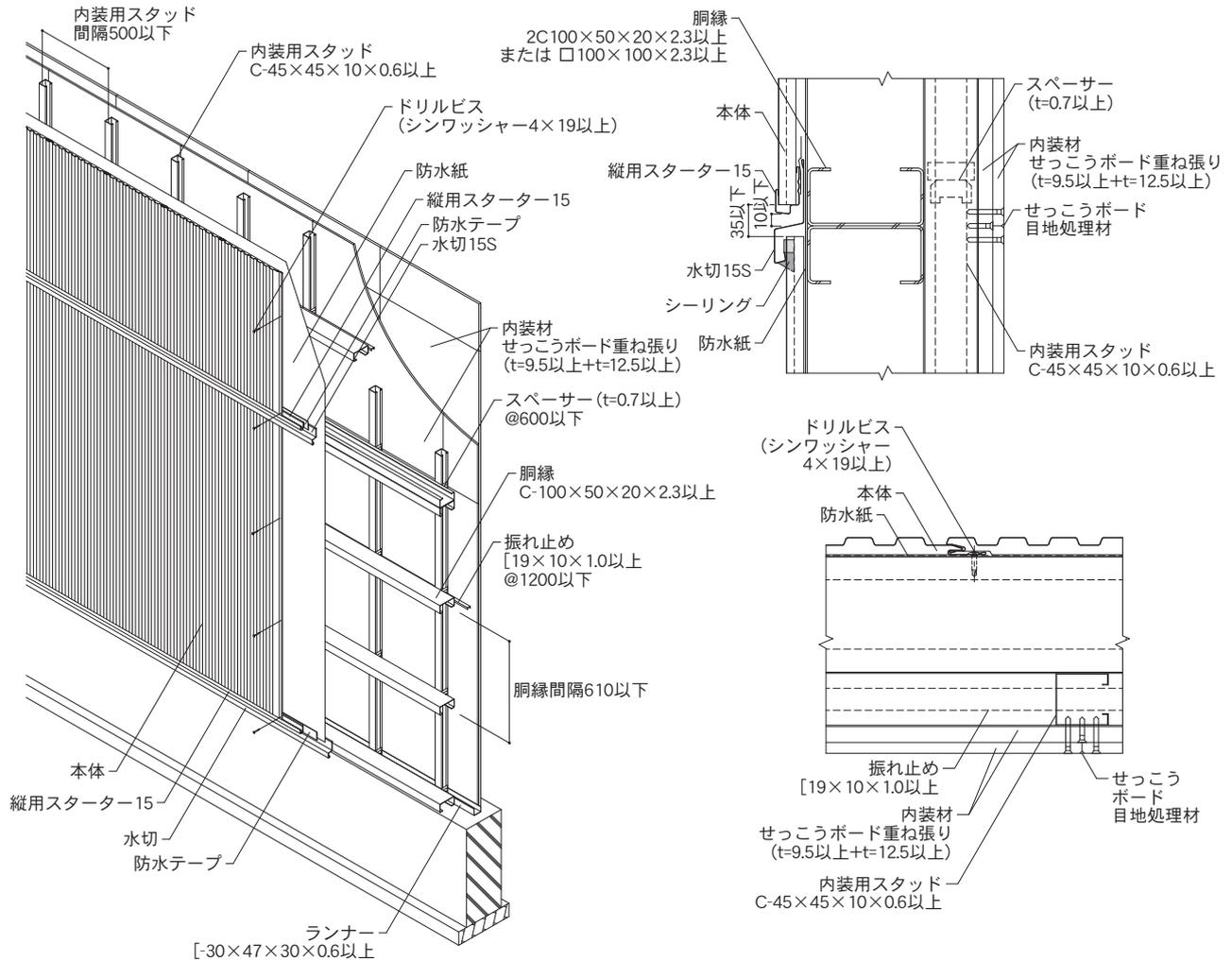
充てん断熱

無機繊維系

せっこうボード内装張り

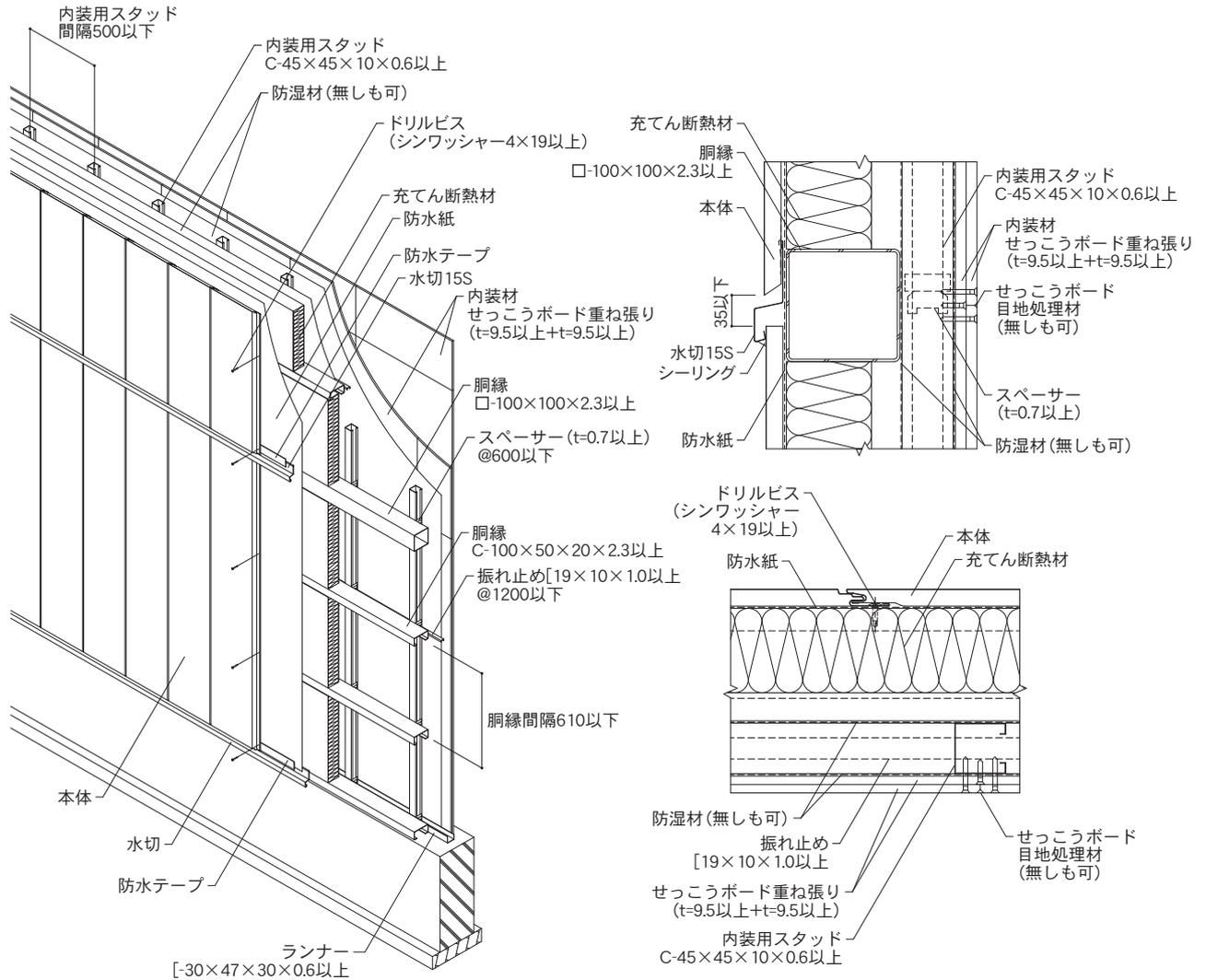
屋内側のせっこうボードの内装張りに対応した防火構造認定です。
 充てん断熱材の有無により、認定番号が異なります。図はPC030NE-0215(1)です。

単位：mm

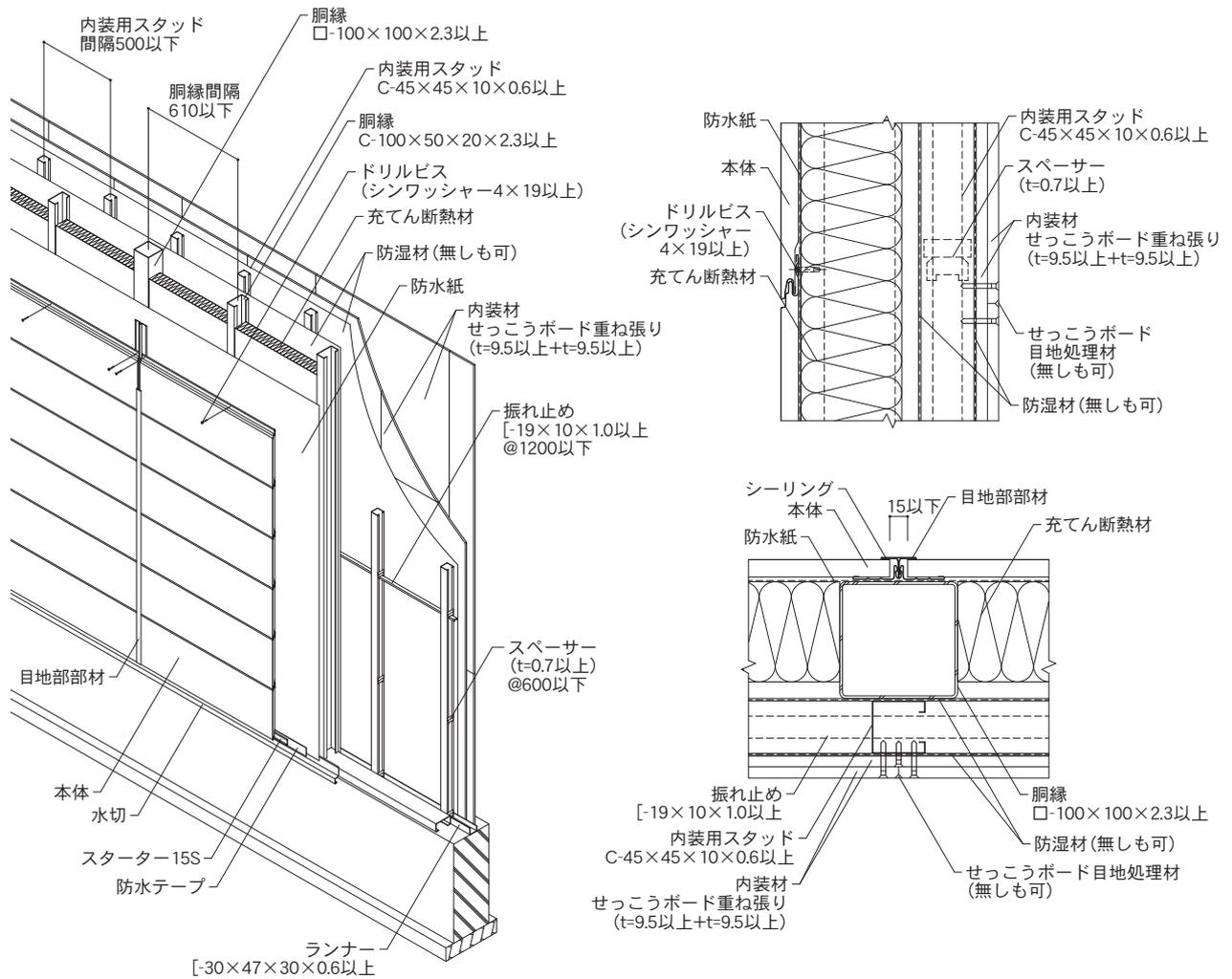


充てん断熱材		
PC030NE-0215(1)		
・なし		
PC030NE-0215(2)		
・グラスウール ・ロックウール		
内装材		
<ul style="list-style-type: none"> ・せっこうボード ・内装材用留め具 	厚さ9.5mm以上+厚さ12.5mm以上 [下張り] せっこうボードビス 3.5×L22以上 留め付け間隔：外周部400mm以下、中間部600mm以下 [上張り] せっこうボードビス 3.5×L32以上 留め付け間隔：外周部200mm以下、中間部300mm以下	<ul style="list-style-type: none"> ・せっこうボードの下張りとお上りの目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。 ・上張りのせっこうボードの目地部には、せっこうボード目地処理材を施工してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・せっこうボード目地処理材 	テープ ガラス繊維：厚さ0.2mm以上、幅50mm以上 目地処理材 せっこう系または炭酸カルシウム系：使用量30g/m以上	
備考		
<ul style="list-style-type: none"> ・土台部は、認定の対象外です。 ・たてつなぎ（中間水切）部には、水切15Sと縦用スターター15の施工が必須となります。 アルミ縦用スターター15は使用できません。 		

単位：mm



充てん断熱材	
<ul style="list-style-type: none"> ・グラスウール ・ロックウール 	密度10kg/m ³ 以上 厚さ75mm以上
内装材	
<ul style="list-style-type: none"> ・せっこうボード ・内装材用留め具 	厚さ9.5mm以上+厚さ9.5mm以上 [下張り] せっこうボードビス 3×20以上 留め付け間隔：外周部400mm以下、中間部600mm以下 [上張り] せっこうボードビス 3.5×28以上 留め付け間隔：外周部200mm以下、中間部300mm以下
備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・土台部は、認定の対象外です。 ・通気構法（木胴縁12×40以上@610以下）にも対応可能です。サイディング本体を留め付けるドリルビスは木胴縁を貫通させ鉄骨胴縁に効かせてください。 ・たてつなぎ（中間水切）部には、縦用スターター15を併用できます。アルミ縦用スターターは使用できません。 	



充てん断熱材		
<ul style="list-style-type: none"> ・グラスウール ・ロックウール 	密度10kg/m ³ 以上 厚さ75mm以上	
内装材		
<ul style="list-style-type: none"> ・せっこうボード ・内装材用留め具 	厚さ9.5mm以上+厚さ9.5mm以上 [下張り] せっこうボードビス 3×20以上 留め付け間隔：外周部400mm以下、中間部600mm以下 [上張り] せっこうボードビス 3.5×28以上 留め付け間隔：外周部200mm以下、中間部300mm以下	・せっこうボードの下張りとお上りの目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
備考		
<ul style="list-style-type: none"> ・土台部は、認定の対象外です。 ・通気構法（木胴縁12×40以上@610以下）にも対応可能です。サイディング本体を留め付けるドリルビスは木胴縁を貫通させ鉄骨胴縁に効かせてください。 		

認定番号：PC030NE-0241(1),(2) SF-ガルステー ジシャイン

防火

よこ

直張・通気

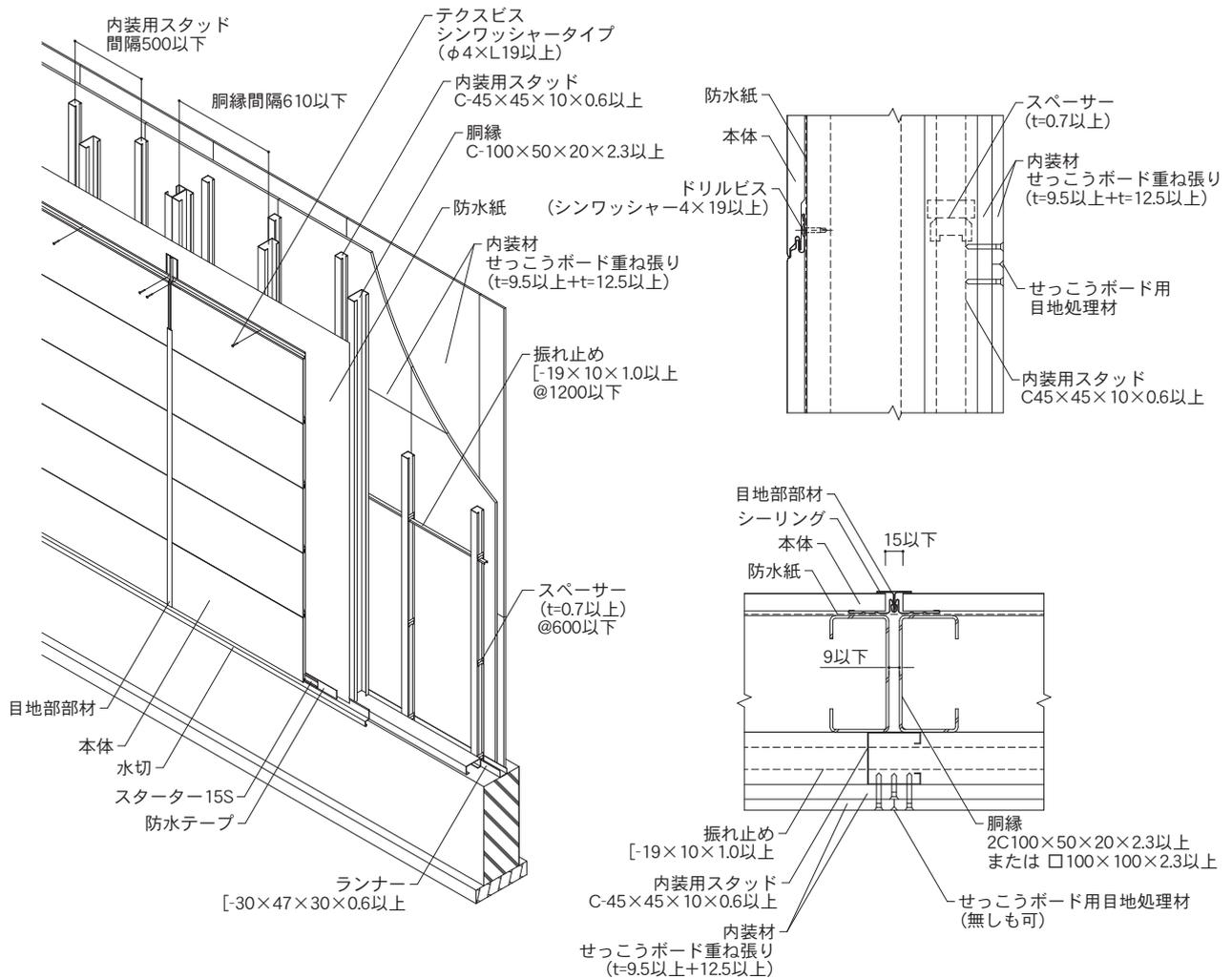
充てん断熱

無機繊維系

せっこうボード内装張り

充てん断熱材の有無により、認定番号が異なります。図は、PC030NE-0242(1)です。

単位：mm



充てん断熱材		
PC030NE-0241(1)		
・なし		
PC030NE-0241(2)		
・グラスウール ・ロックウール		
内装材		
<ul style="list-style-type: none"> ・せっこうボード ・内装材用留め具 	厚さ12.5mm以上+厚さ9.5mm以上 [下張り] タッピンねじ (φ3.5×L22以上) 留め付け間隔：外周部400mm以下、中間部600mm以下 [上張り] タッピンねじ (φ3.5×L32以上) 留め付け間隔：外周部200mm以下、中間部300mm以下	<ul style="list-style-type: none"> ・せっこうボードの下張りとし上張りの目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。 ・上張りのせっこうボードの横目地部には、せっこうボード用目地処理材を施工してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・せっこうボード用目地処理材 	目地テープ ガラス繊維：厚さ0.2mm以上、幅50mm以上 目地パテ せっこう系または炭酸カルシウム系：使用量30g/m以上	
備考		
・土台部は、認定対象外です。		

認定番号：PC030NE-0252(1),(2) SP-ガルブライトⅡ

防火

よこ

直張・通気

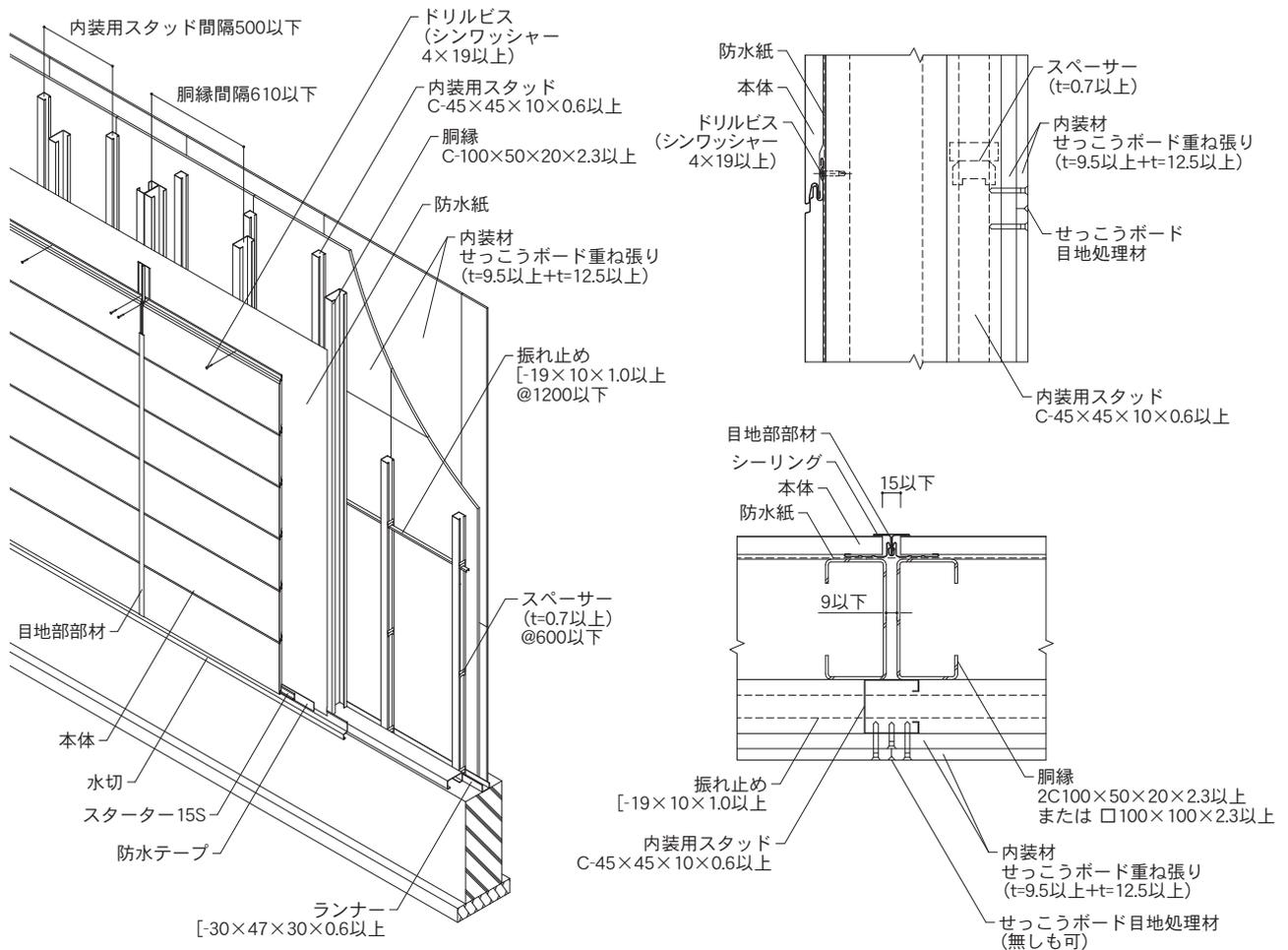
充てん断熱

無機繊維系

せっこうボード内装張り

充てん断熱材の有無により、認定番号が異なります。図は、PC030NE-0252(1)です。

単位：mm



充てん断熱材		
PC030NE-0252(1)		
・なし		
PC030NE-0252(2)		
・グラスウール ・ロックウール		
内装材		
<ul style="list-style-type: none"> ・せっこうボード ・内装材用留め具 	厚さ9.5mm以上+厚さ12.5mm以上 [下張り] せっこうボードビス 3.5×22以上 留め付け間隔：外周部400mm以下、中間部600mm以下 [上張り] せっこうボードビス 3.5×32以上 留め付け間隔：外周部200mm以下、中間部300mm以下	<ul style="list-style-type: none"> ・せっこうボードの下張りとお上りの目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
備考		
・土台部は、認定の対象外です。		

認定番号：QF045NE-0063(1),(2),(3) SP-ガルスパン

45分準耐火

たて

直張・通気

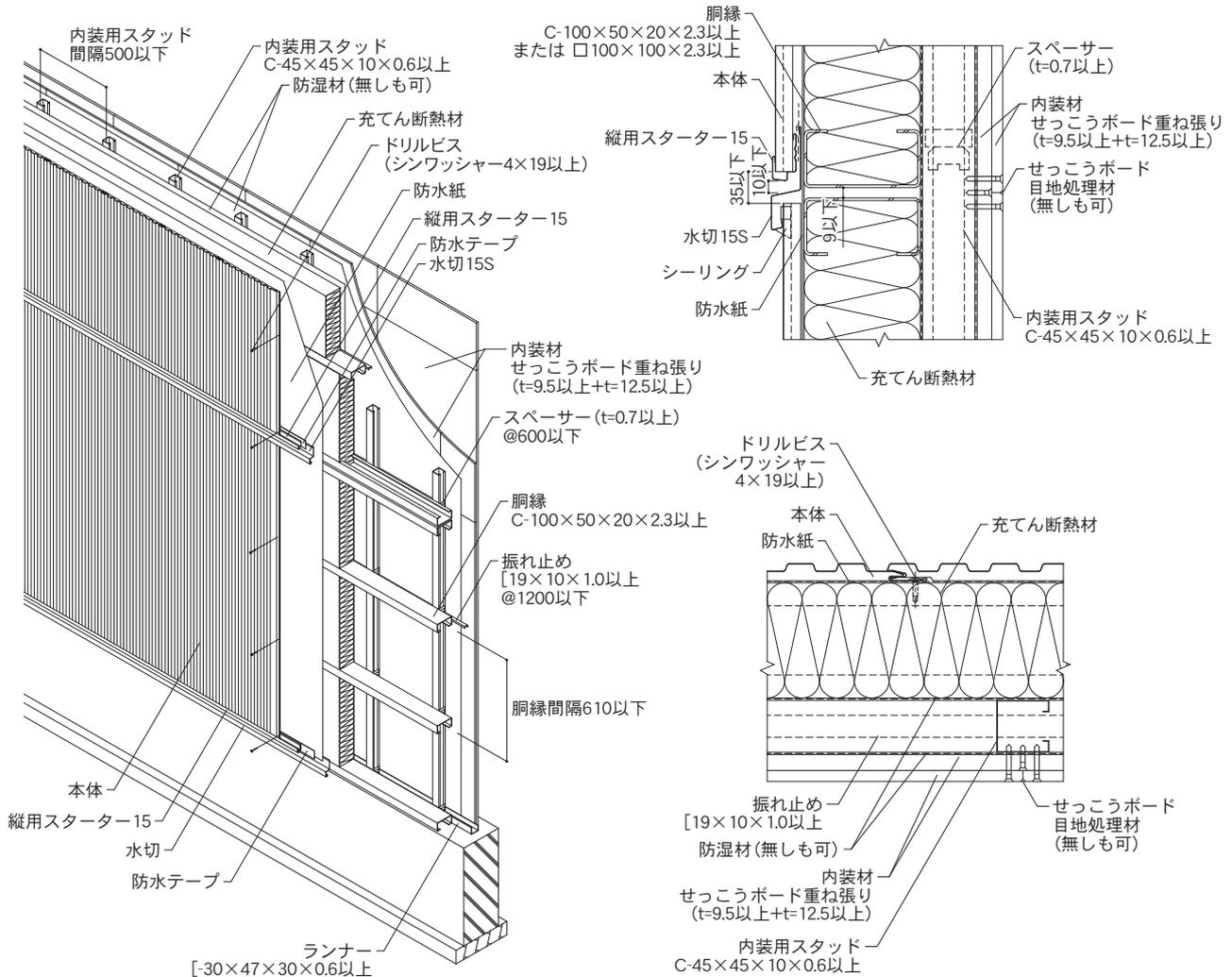
充てん断熱

無機繊維系

せっこうボード内装張り

外装下地材の仕様により認定番号が異なります。図はQF045NE-0063(1)です。

単位：mm



外装下地材		
QF045NE-0063(1)		
・なし		
QF045NE-0063(2)		
・単体張り：せっこうボードなど厚さ9mm以上		
QF045NE-0063(3)		
・重ね張り：[下張り]せっこうボードなど厚さ9mm以上、[上張り]せっこうボードなど厚さ9mm以上		
充てん断熱材		
・グラスウール	密度16kg/m ³ 以上	
・ロックウール	厚さ100mm以上	
内装材		
・せっこうボード	厚さ9.5mm以上+厚さ12.5mm以上	・せっこうボードの下張りとし上張りの目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
・内装材用留め具	[下張り] せっこうボードビス 3.0×20以上 留め付け間隔：外周部400mm以下、中間部600mm以下	
	[上張り] せっこうボードビス 3.5×32以上 留め付け間隔：外周部200mm以下、中間部300mm以下	
備考		
<ul style="list-style-type: none"> ・土台部は、認定の対象外です。 ・通気構法にも対応しています。サイディング本体を留め付けるドリルビスの長さは、打ち込み深さの寸法が規定されています。外装下地の厚さと通気部材の厚さに応じて、ドリルビスの長さが異なります。 ・たてつなぎ（中間水切）部には、水切15Sと縦用スターター15の施工が必須となります。アルミ縦用スターター15を使用すると認定対象外となります。 		

8
防耐火認定

認定番号：QF045NE-0064(1),(2),(3) SP-ガルブライト II

45分準耐火

よこ

直張・通気

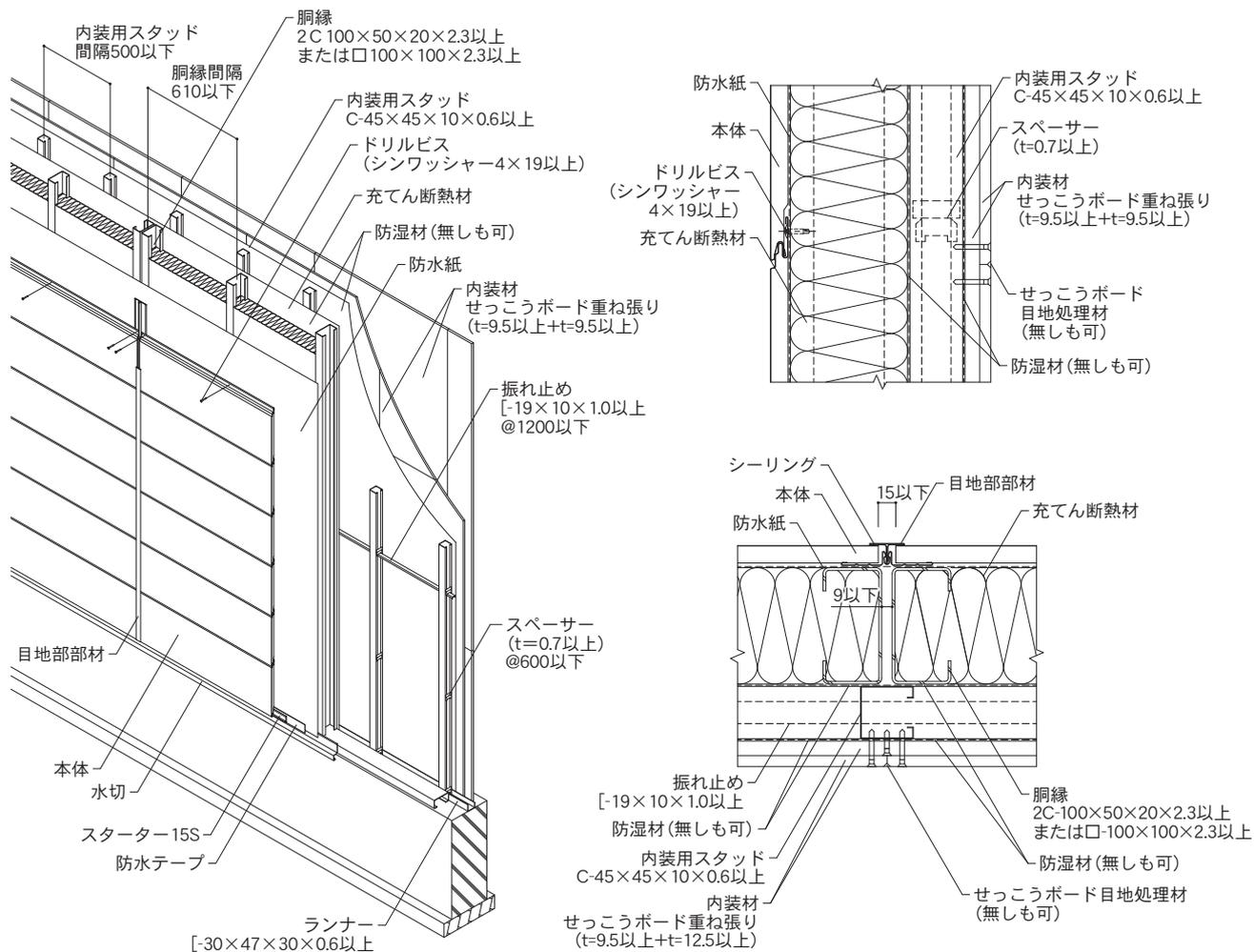
充てん断熱

無機繊維系

せっこうボード内装張り

外装下地材の仕様により認定番号が異なります。図はQF045NE-0064(1)です。

単位：mm



外装下地材		
QF045NE-0064(1)		
・なし		
QF045NE-0064(2)		
・単体張り：せっこうボードなど厚さ9mm以上		
QF045NE-0064(3)		
・重ね張り：[下張り]せっこうボードなど厚さ9mm以上、[上張り]せっこうボードなど厚さ9mm以上		
充てん断熱材		
・グラスウール ・ロックウール	密度16kg/m ³ 以上 厚さ100mm以上	
内装材		
・せっこうボード ・内装材用留め具	厚さ9.5mm以上+厚さ12.5mm以上 [下張り]せっこうボードビス 3.0×20以上 留め付け間隔：外周部400mm以下、中間部600mm以下 [上張り]せっこうボードビス 3.5×32以上 留め付け間隔：外周部200mm以下、中間部300mm以下	・せっこうボードの下張りとお上りの目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
備考		
・土台部は、認定の対象外です。 ・通気構法にも対応しています。サイディング本体を留め付けるドリルビスの長さは、打ち込み深さの寸法が規定されています。外装下地の厚さと通気部材の厚さに応じて、ドリルビスの長さが異なります。		

認定番号：QF045NE-0066(1),(2),(3) SP-ガルブライト II

45分準耐火

たて

直張・通気

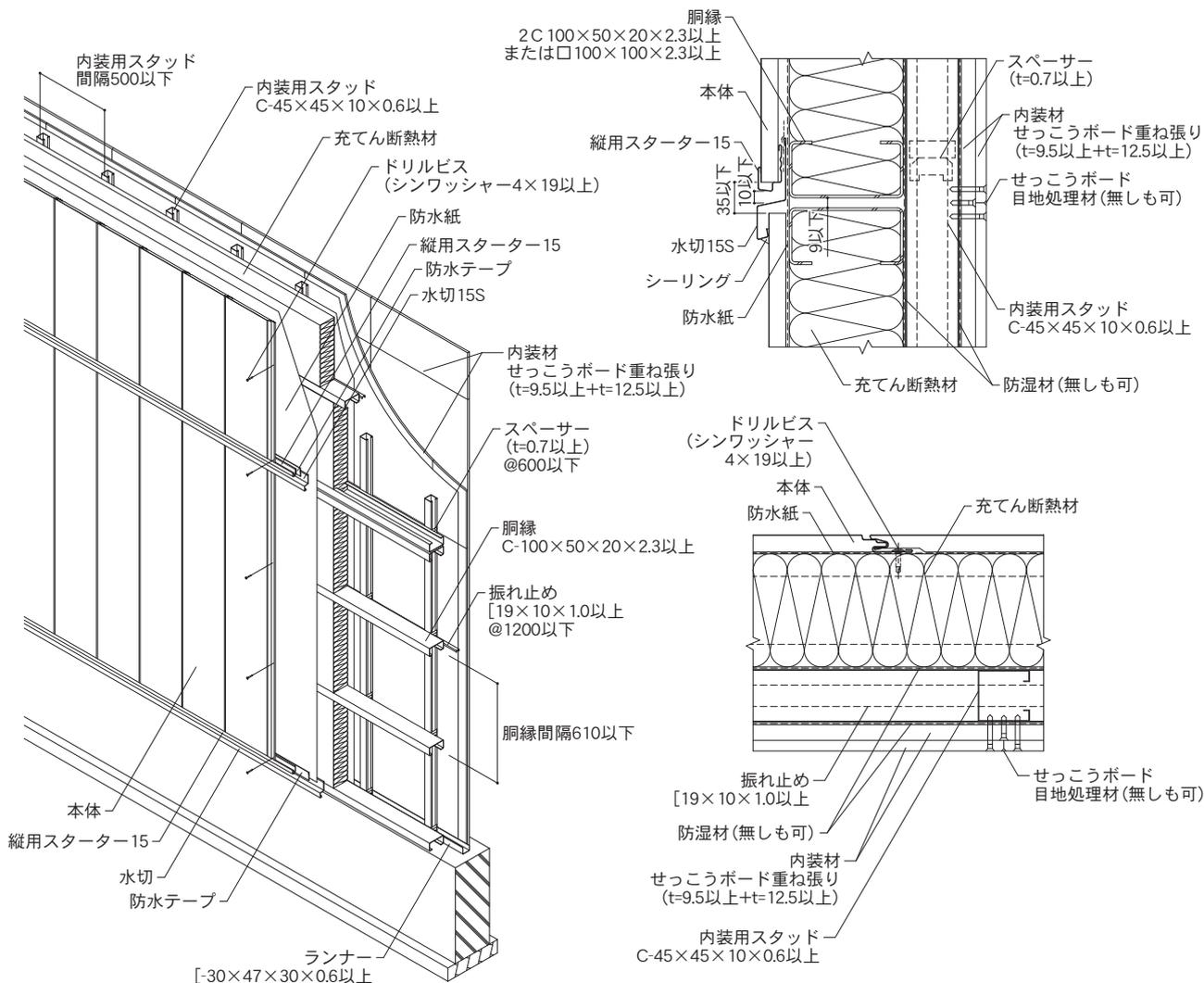
充てん断熱

無機繊維系

せっこうボード内装張り

外装下地材の仕様により認定番号が異なります。図はQF045NE-0066(1)です。

単位：mm



外装下地材		
QF045NE-0066(1)		
・なし		
QF045NE-0066(2)		
・単体張り：せっこうボードなど厚さ9mm以上		
QF045NE-0066(3)		
・重ね張り：[下張り]せっこうボードなど厚さ9mm以上、[上張り]せっこうボードなど厚さ9mm以上		
充てん断熱材		
・グラスウール	密度16kg/m ³ 以上	
・ロックウール	厚さ100mm以上	
内装材		
・せっこうボード	厚さ9.5mm以上+厚さ12.5mm以上	・せっこうボードの下張りとし上張りの目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
・内装材用留め具	[下張り]せっこうボードビス 3.0×20以上 留め付け間隔：外周部400mm以下、中間部600mm以下	
	[上張り]せっこうボードビス 3.5×32以上 留め付け間隔：外周部200mm以下、中間部300mm以下	
備考		
<ul style="list-style-type: none"> 土台部は、認定の対象外です。 通気構法にも対応しています。サイディング本体を留め付けるドリルビスの長さは、打ち込み深さの寸法が規定されています。外装下地の厚さと通気部材の厚さに応じて、ドリルビスの長さが異なります。 たてつなぎ（中間水切）部には、水切15Sと縦用スターター15の施工が必須となります。アルミ縦用スターター15を使用すると認定対象外となります。 		

認定番号：QF045NE-0070(1),(2),(3) SF-ガルステージシャイン

45分準耐火

よこ

直張・通気

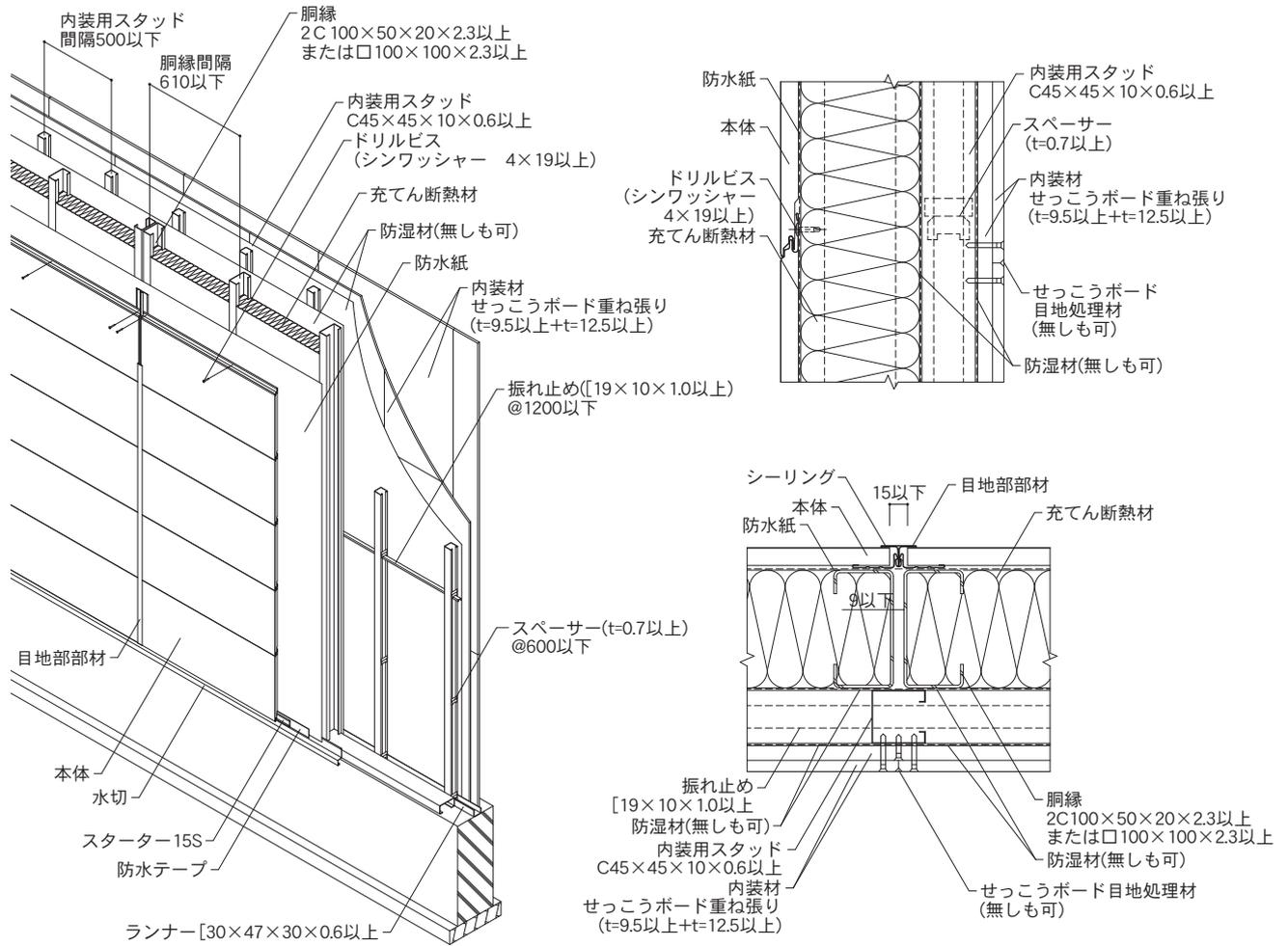
充てん断熱

無機繊維系

せっこうボード内装張り

外装下地材の仕様により認定番号が異なります。図はQF045NE-0070 (1) です。

単位：mm



外装下地材		
QF045NE-0070(1)		
・なし		
QF045NE-0070(2)		
・単体張り：せっこうボードなど厚さ9mm以上		
QF045NE-0070(2)		
・重ね張り：[下張り]せっこうボードなど厚さ9mm以上、[上張り]せっこうボードなど厚さ9mm以上		
充てん断熱材		
・グラスウール	密度 16kg/m ³ 以上	
・ロックウール	厚さ 100mm 以上	
内装材		
・せっこうボード	厚さ9.5mm以上+厚さ12.5mm以上	・せっこうボードの下張りとお上りの目地は、お互いに揃わないように割り付けてください。
・内装材用留め具	[下張り] せっこうボードビス 3.0×20以上 留め付け間隔は、外周部400mm以下、中間部600mm以下 [上張り] せっこうボードビス 3.5×32以上 留め付け間隔は、外周部200mm以下、中間部300mm以下	
備考		
<ul style="list-style-type: none"> ・土台部は、認定の対象外です。 ・通気構法にも対応しています。サイディング本体を留め付けるドリルビスの長さは、打ち込み深さの寸法が規定されています。外装下地の厚さと通気部材の厚さに応じて、ドリルビスの長さが異なります。 		

MEMO

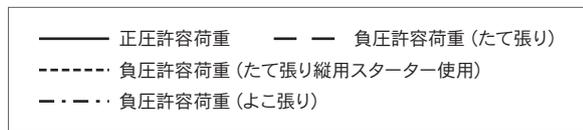
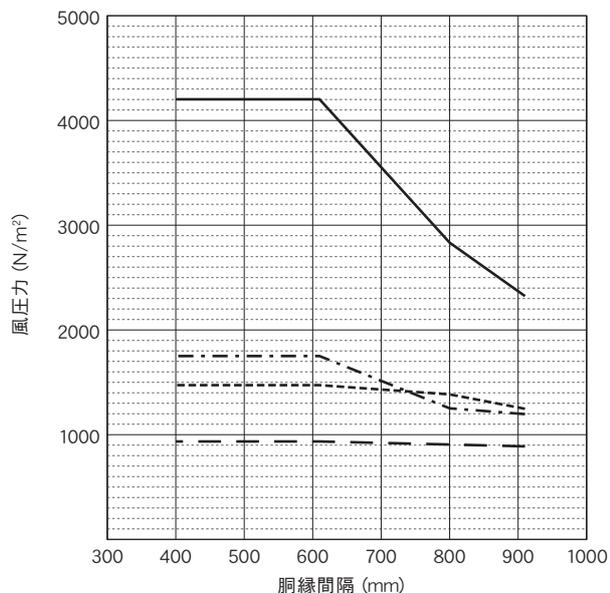
9 物性一覧

■耐風圧性（鉄骨下地）

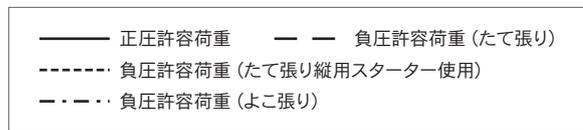
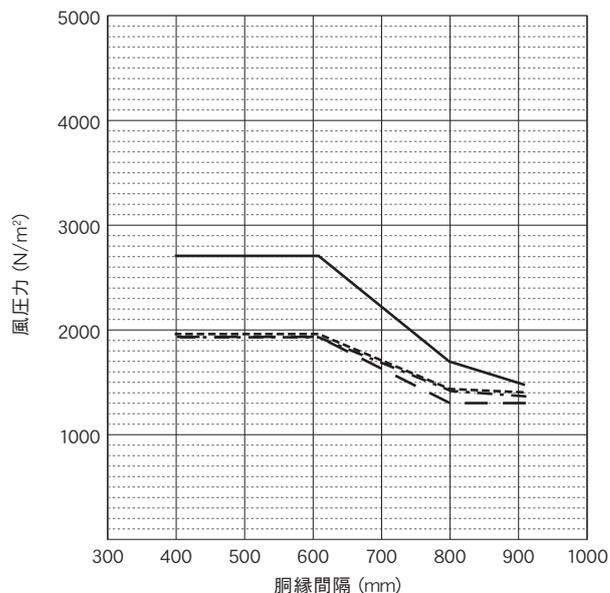
アイジーサイディングの胴縁間隔の求め方

風圧カグラフの正圧・負圧許容荷重を基に、外壁にかかる風圧力に対して許容できる胴縁間隔をそれぞれ求め、間隔の狭い方を採用してください。

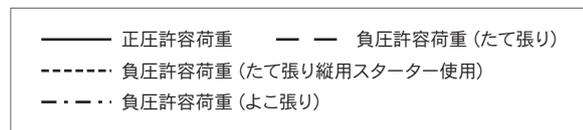
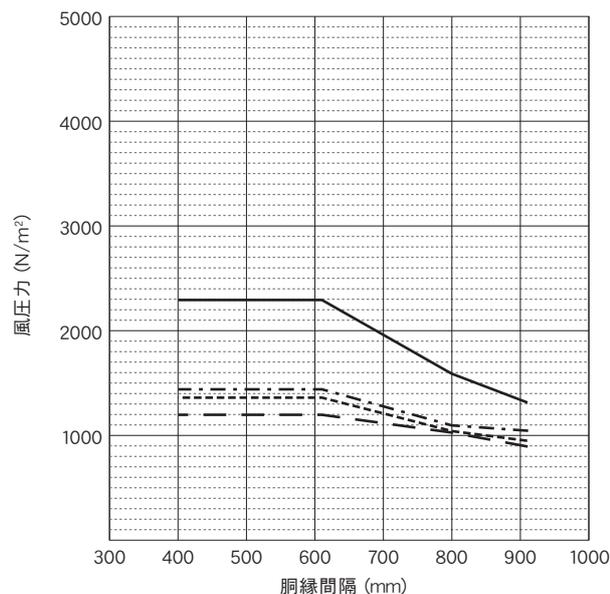
■SP-ガルスパン



■SP-ガルブライトII



■SF-ガルステージシャイン



■銘壁

たて張り

正圧許容荷重	2,300 N/m ²
負圧許容荷重	970 N/m ²

※胴縁間隔610mm

たて張り縦用スター使用

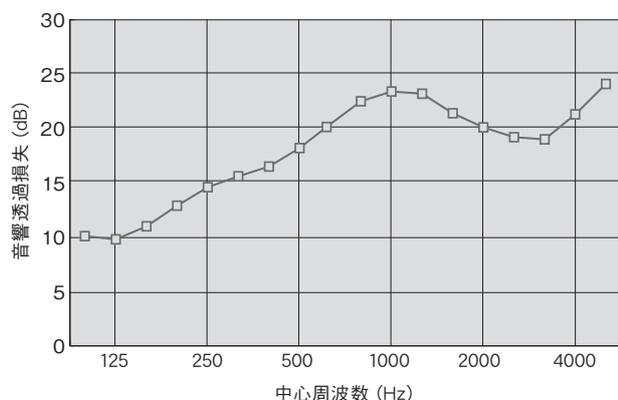
正圧許容荷重	2,300 N/m ²
負圧許容荷重	1,020 N/m ²

※胴縁間隔610mm

サイディング強度を確保するために本体取り付け用ビスは必ずドリルビス（シンワッシャー 4×19以上）を使用してください。

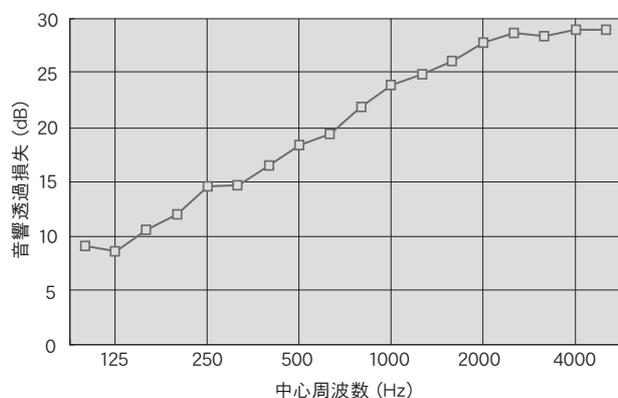
■遮音性

■SP-ガルスパン



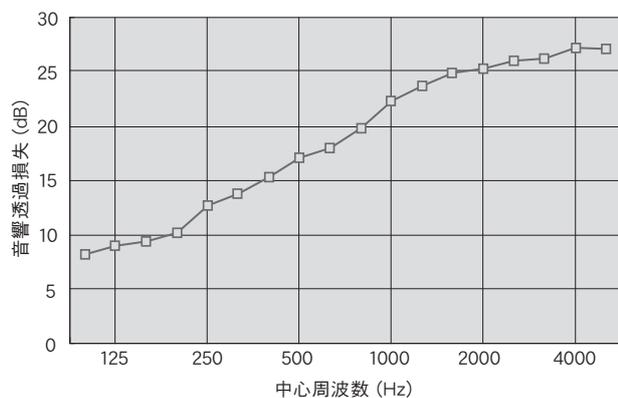
中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)	中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)
100	10.1	800	22.5
125	9.8	1000	23.4
160	11.0	1250	23.2
200	12.9	1600	21.4
250	14.6	2000	20.1
315	15.6	2500	19.2
400	16.5	3150	19.0
500	18.2	4000	21.3
630	20.4	5000	24.1

■SP-ガルブライトII



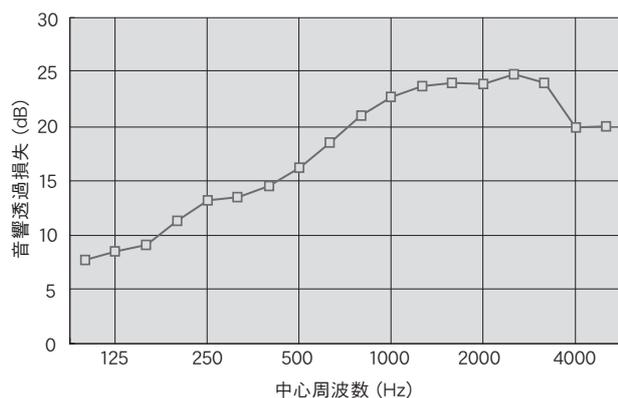
中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)	中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)
100	9.1	800	21.9
125	8.6	1000	23.9
160	10.6	1250	24.9
200	12.0	1600	26.1
250	14.6	2000	27.8
315	14.7	2500	28.7
400	16.5	3150	28.4
500	18.4	4000	29.0
630	19.4	5000	29.0

■SF-ガルステージシャイン



中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)	中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)
100	8.2	800	19.8
125	9.0	1000	22.3
160	9.4	1250	23.7
200	10.2	1600	24.9
250	12.7	2000	25.3
315	13.8	2500	26.0
400	15.3	3150	26.2
500	17.1	4000	27.2
630	18.0	5000	27.1

■銘壁



中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)	中心周波数 (Hz)	透過損失 (dB)
100	7.7	800	21.0
125	8.5	1000	22.7
160	9.1	1250	23.7
200	11.3	1600	24.0
250	13.2	2000	23.9
315	13.5	2500	24.8
400	14.5	3150	24.0
500	16.2	4000	19.9
630	18.5	5000	20.0

試験方法：JS A 1416

試験機関：(一財) 建材試験センター (旧 (財) 建材試験センター)

・測定値であり、性能保証値ではありません。

■物性値

商品名		SP-ガルスパン	SP-ガルブライトII	SF-ガルステージシャイン	銘壁	
断熱性※	しん材熱伝導率 [JIS A 1412-2]	W/mK (kcal/mh°C)	0.020 (0.018)	0.020 (0.018)	0.020 (0.018)	0.020 (0.018)
	熱貫流率 [JIS A 1420]	W/m ² K (kcal/m ² h°C)	1.73 (1.49)	1.70 (1.47)	1.59 (1.37)	1.57 (1.35)
	熱抵抗 [JIS A 1420]	m ² K/W (m ² h°C/kcal)	0.43 (0.50)	0.44 (0.51)	0.48 (0.55)	0.49 (0.56)
水密性 (一般部) [JIS A 1414]	Pa (kgf/m ²)	平均圧力差 550 (56) で漏水なし	平均圧力差 550 (56) で漏水なし	平均圧力差 550 (56) で漏水なし	—	
耐食性 (塩水噴霧) [JIS Z 2371]	hr	800以上				

(1Pa=1N/m²)

・上記物性値データは参考値です。環境によって異なる数値になる場合があります。

※ 熱伝導率、熱貫流率は数値が小さい方、熱抵抗は数値が大きい方が断熱性に優れています。熱抵抗は熱貫流率から算出した値です。

MEMO

10 免責事項

次のような場合、弊社では責任を負いかねます。ご了承ください。

- ・ 施工店様による、施工や取り扱いが原因で不具合が生じた場合。
- ・ 所有者、入居者、管理者の維持管理の不注意・装置の取り付け・改修・改築により不具合が生じた場合。
- ・ 所有者、入居者、管理者または第三者の故意・過失などにより不具合が生じた場合。
- ・ 天変地異・周囲環境・大気汚染・塩害などの特殊環境下で不具合が生じた場合。
- ・ 通常の経年変化による変色・汚れなどが生じた場合。
- ・ 建物の構造体に起因した変形・変位が原因で不具合が生じた場合。
- ・ シーリング部及び、現場塗装により不具合が生じた場合。
- ・ サイディング本体及び部材に付着した切粉・加工屑・落ち葉・動物の排出物・粉塵などが原因で不具合が生じた場合。
- ・ 水が滞留する部分の塗膜損傷及び電食作用が原因で不具合が生じた場合。
- ・ くぎ部のさびまたはもらいさび、及びカビによる汚染などが生じた場合。
- ・ 建築基準法及び、関係法規に違反した使用により不具合が生じた場合。
- ・ 外壁以外の用途で使用し、不具合が生じた場合。

その他ご不明な点などありましたら弊社にご相談ください。

各種カタログのご案内

お客様の要望に沿ったカタログをご用意しております。
各種カタログはホームページからご請求ください。



専門業者様向け 総合カタログ



【掲載商品】
アイジーサイディング
アイジールーフ
アイジーヴァンド

専門業者様向け アイジールーフ



【掲載商品】
スーパーガルテクトフッ素
スーパーガルテクト
スーパーガルテクトC

専門業者様向け S造向け外壁材カタログ



【掲載商品】
アイジーヴァンド
アイジーサイディング
(S造防火対応商品)

専門業者様向け アイジーサイディング 施工説明書 (木造新築用・改修用)



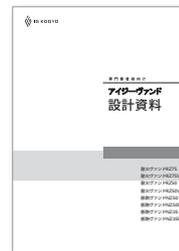
専門業者様向け アイジールーフ 施工説明書 (新築用・改修用)



専門業者様向け アイジーサイディング S造向け外壁材 施工説明書



専門業者様向け アイジーヴァンド 設計資料



SIMPLE MODERN SERIES



【掲載商品】
アイジーサイディング
(シンプルモダンシリーズ)

屋根リフォームなら スーパーガルテクト



【掲載商品】
アイジールーフ

METAL WALL DESIGN

S造向け施工写真集



【掲載商品】
アイジーヴァンド
アイジーサイディング
(S造防火対応商品)



アイジー工業株式会社

本 社	〒999-3716	山形県東根市蟹沢上縄目1816-12	TEL. 0237-43-1810	FAX. 0237-41-1810
東京営業所	〒101-0065	東京都千代田区西神田3-1-6 日本弘道会ビル6F	TEL. 03-3556-0341	FAX. 03-3556-0342
札幌営業所	〒003-0026	北海道札幌市白石区本通19丁目南2-7 食糧ビル5F	TEL. 011-863-0303	FAX. 011-860-2084
盛岡営業所	〒020-0022	岩手県盛岡市大通3-3-10 七十七日生盛岡ビル7F	TEL. 019-605-8050	FAX. 019-605-8051
仙台営業所	〒983-0852	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-12-12 L.Biz仙台5F	TEL. 022-292-5405	FAX. 022-292-5406
宇都宮営業所	〒320-0811	栃木県宇都宮市大通り2-1-5 明治安田生命宇都宮大通りビル7F	TEL. 028-611-3483	FAX. 028-637-3005
新潟営業所	〒950-0912	新潟県新潟市中央区南笹口1-1-54 日生南笹口ビル6F	TEL. 025-240-6718	FAX. 025-240-6719
富山営業所	〒930-0004	富山県富山市桜橋通り1-18 北日本桜橋ビル3F	TEL. 076-443-8621	FAX. 076-443-8622
名古屋営業所	〒460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内1-8-24 綿常第5ビル4F	TEL. 052-218-7885	FAX. 052-218-7886
大阪営業所	〒564-0051	大阪府吹田市豊津町9-1 EDGE江坂11F	TEL. 06-6310-9076	FAX. 06-6310-9077
福岡営業所	〒812-0011	福岡県福岡市博多区博多駅前3-30-23 博多管絃ビル2F	TEL. 092-474-5564	FAX. 092-474-5574

この施工説明書に掲載の商品は専門施工を必要とします。施工は専門施工店にご依頼ください。
商品改良などにより、予告なく仕様の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

www.igkogyo.co.jp

